

Ⅲ 今後の水環境改善に向けた 取り組みについて

【水 温】

- ・水温予測モデルを用い全川において28℃以下を満たす流量を算出。
- ・赤外線映像による温度分布図との重ね合わせ、河川形態調査により得られた「すみ場」との対応関係の検証を行う。

【河川形態】

- ・中越地震復旧後(減水時)における同地点での河川形態を把握・比較することにより、減水による「すみ場」の変化を具体的に把握する。

【サケの遡上】

- ・ゲート操作の試験実施し、効果について検証を行う。

※ 平成18年度は発電取水が再開される予定であり、試験放流実施に係る覚書に基づいて試験放流が実施される。